

技術を本にして売る、という 仕事

小川 晃通（著者）

×

鹿野 桂一郎（編集者）

2022 年 9 月 23 日

於 技術書典カンファレンス ～シンカンオマチランド～

自己紹介（鹿野桂一郎）

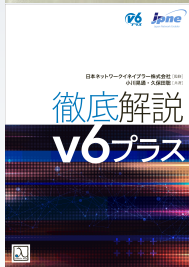
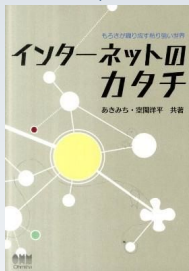
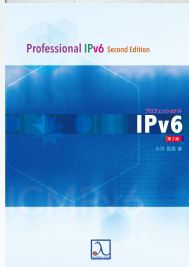
- オーム社で 14 年、書籍編集
 - 『マスタリング TCP/IP』シリーズ
 - 『型システム入門』
 - 『プログラミングのための線形代数』 など
- 2014 年、ラムダノートという出版社を立ち上げ
 - 新刊 13 冊 + 改訂 2 冊 + 1 冊 (β 版)
 - 不定期刊行誌「n 月刊ラムダノート」通巻 6 号

自己紹介（小川晃通）

● 著書、共著、監訳書

1. 『マスタリング TCP/IP RTP 編』 (オーム社)
2. 『インターネットのカタチ』 (オーム社)
3. 『マスタリング TCP/IP OpenFlow 編』 (オーム社)
4. 『アカマイ 知られざるインターネットの巨人』 (KADOKAWA)
5. 『ポートとソケットがわかればインターネットがわかる』
(技術評論社)
6. 『Linux ネットワークプログラミング』 (ソフトバンククリエイティブ)
7. 『プロフェッショナル IPv6 第2版』 (ラムダノート)
8. 『徹底解説 v6 プラス』 (ラムダノート)
9. 『ピアリング戦記日本のインターネットを繋ぐ技術者たち』
(ラムダノート)

ディスコグラフィ



『マスタリングTCP/IP RTP 編』

§ 基本情報

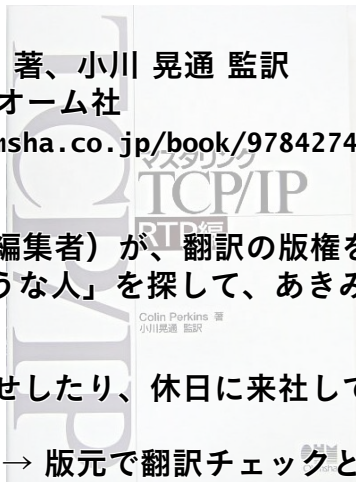
- Colin Perkins 著、小川 晃通 監訳
- 2004 年 4 月、オーム社
- <https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274065613/>

§ 企画の背景と発端

- 鹿野（出版社の編集者）が、翻訳の版權を獲得
- 「RTP に詳しくな人」を探して、あきみちさんに連絡

§ 制作技術

- 喫茶店で打ち合せしたり、休日に来社してもらったり、ふつうの商業出版
- 業者による翻訳 → 版元で翻訳チェックと仮組版 → 監訳



『インターネットのカタチ』

§ 基本情報

- あきみち 著、空閑 洋平 著
- 2011 年 6 月、オーム社
- <https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274068249/>

§ 企画の背景と発端

- あきみちさんがブロガー @geekpage として独立
- 「インターネットが壊れた話のネタがいろいろある」といって持ち込み

§ 制作技術

- TeX で執筆、Subversion のリモートサーバでバージョン管理



『マスタリングTCP/IP OpenFlow 編』

§ 基本情報

- あきみち 著、宮永 直樹 著、岩田 淳 著
- 2013 年 7 月、オーム社
- <https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274069208/>

§ 企画の背景と発端

- 鹿野が SDN に興味を持って、あきみちさんと雑談してたのがきっかけ

§ 制作技術

- HTML で執筆、Subversion のリモートサーバでバージョン管理
- 自動組版システム (Scheme+LaTeX)

『プロフェッショナルIPv6』

§ 基本情報

- 小川 晃通 著
- 2018年7月、ラムダノート
- <https://lambdanote.com/products/ipv6>

§ 企画の背景と発端

- 鹿野が出版社 @lambdanote として独立
- 「完成してない原稿をなんとかしたい」が、印税収入だと厳しい
 - ▶ 「もう本は書かないで」
- クラウドファンディングでの出版に挑戦してみよう

§ 制作技術

- HTMLで執筆、GitHubでバージョン管理
- 自動組版システム (Scheme+LaTeX)

『徹底解説 v6 プラス』

§ 基本情報

- 日本ネットワークイネイブラー株式会社 監修、小川 晃通・久保田 聡 共著
- 2020 年 1 月、ラムダノート
- <https://lambdanote.com/products/v6plus>

§ 企画の背景と発端

- 『プロフェッショナル IPv6』のスポンサーでもある JPNE さんから、あきみちさんに打診
- サービスマニュアルやマーケ資料としてでなく、あくまでも「技術書」として企画
 - ▶ 大規模 NAT 技術について詳しい稀有な本に

§ 制作技術

- Markdown で執筆、GitHub でバージョン管理
- 自動組版システム (Haskell+LaTeX)

『プロフェッショナルIPv6 第2版』

§ 基本情報

- 小川 晃通 著
- 2021年12月、ラムダノート
- <https://lambdanote.com/products/ipv6-2>

追加のクラウドファンディングも企業スポンサーもなしで改訂に成功



『ピアリング戦記』

§ 基本情報

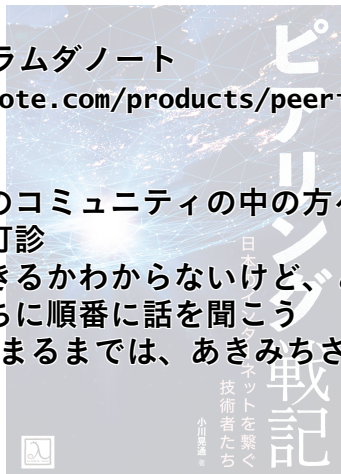
- 小川 晃通 著
- 2022 年 7 月、ラムダノート
- <https://lambdanote.com/products/peering>

§ 企画の背景と発端

- ピアリング技術のコミュニティの中の方々（発起人）から、あきみちさんに打診
- どういう本ができるかわからないけど、とりあえず当時を知っている人たちに順番に話を聞こう
- 「本」としてまとまるまでは、あきみちさんも鹿野もそれぞれ苦労した

§ 制作技術

- Markdown で執筆、GitHub でバージョン管理
- 自動組版システム (Haskell+LaTeX)



よく考えること（本の内容以外）

- 基本は「書きたいことがある → 本にする」だけど、本で生計を立てているとそうもいかない
 - クラウドファンディング
 - 企業/個人スポンサー
 - フリーミアム
- 出版には責任も伴う
 - 間違いがない内容にすることは前提
 - 無理に買わせない
 - パッケージ化された情報として残すことの意義
- バージョン管理と自動組版は空気と水のようなもの

QA